

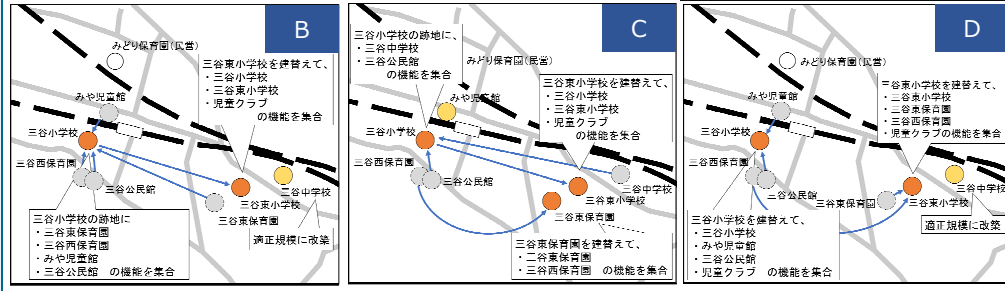
# 事務局が作成した4つの再配置プラン案

今後、ワークショップでのさらなる検討を踏まえ、次の4案に、表紙掲載の追加案を含めた9つの再配置プラン案を絞り込んでいきます。

## 各案のコンセプト

- A**：子どもに関わる機能をまとめて子どもが育ちやすい環境を整えるプラン
- B**：使いやすく充実した地域活動と保育の拠点をつくるプラン
- C**：将来を担う中学生が地域活動に関わりやすくするプラン
- D**：通学のアクセスを維持するプラン

凡例：● 機能の集合 ● 存続 ● 転用 ● 廃止



## 学校区についてのアンケートを実施しました。

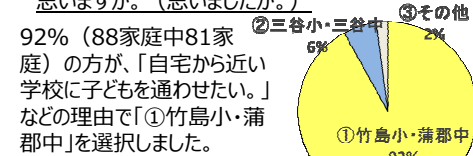
これまでのワークショップの話し合いの中で、三谷町西区の一部が竹島小学校区・蒲郡中学校区であることに対して多くのご意見をいただきました。前回のワークショップで「当事者の意向調査をすべきた」とのご意見をいただいたことから、市教育委員会は学校区についてのアンケートを実施しました。その結果は三谷地区の将来について考えるための検討材料となりました。

対象：該当地区にお住まいの中学生以下の子どもがいるご家庭（未就園児含む）

方法：学校・保育園を通じて配布。  
未就園児等については郵送にて実施。

### 〈アンケート結果抜粋〉

Q. あなたのお子様には、どちらの学校に通わせたいと思いますか。（思いましたか。）



※ アンケートの内容・結果については、市HP（第4回開催状況）をご覧ください。



## ご意見募集

ワークショップに参加している方だけでなく、地区にお住まいのたくさんの方のご意見を踏まえて、「地区個別計画」の策定に向けた検討を進めていきます。

- ワークショップで検討されている内容について
- 三谷地区のまちづくりや公共施設について

下のお問い合わせ先まで、メール・ファクス・郵便・持参により、どうぞお気軽にお届けください。

## お問い合わせ先

蒲郡市総務部財務課  
公共施設マネジメント担当  
〒443-8601 蒲郡市旭町17番1号  
E-mail zaimu@city.gamagori.lg.jp  
TEL 0533-66-1158 / FAX 0533-66-1183

ワークショップについて、詳しくは市ホームページをご覧ください。

<http://www.city.gamagori.lg.jp/site/management/machizukuri-kokyoshisetsu.html>



## 三谷地区 かわら版 第4号

## 三谷地区 まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

蒲郡市では、今後の人口減少・少子高齢化が進む社会情勢を見据え、公共施設の維持更新費用で将来に大きな負担を残さないため「身の丈にあった」施設保有量に適正化していく取り組みを進めています。

そこで今年度、三谷地区では、地区内の公共施設（小学校・中学校・保育園・児童館・公民館）の将来のあり方について皆さまに考えていただく機会として「まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を開催しています。今回は1月20日（日）に三谷公民館にて行われた第4回ワークショップの様子をお伝えします。

また、ワークショップで話し合われている内容等についてご意見を募集しています。いただいたご意見は、ワークショップ参加者の皆さんと共有し、検討を進めていきます。（裏面の「ご意見募集」をご覧ください。）

## 検討の進め方

蒲郡市は、このワークショップでのご意見をはじめ、地区の皆さまのご意見を踏まえて、三谷地区の将来の公共施設の配置や活用方法を示す「地区個別計画」の検討を進めています。第4回ワークショップでは、再配置プラン案を比較するための評価について話し合いました。



1/20開催  
第4回ワークショップ

再配置プラン案を比較するための評価項目について意見交換を行いました。



## パネル展示型説明会を開催しました

12/8 ドミー三谷店  
12/11 三谷西保育園  
12/12 三谷東保育園



子育て世代を中心に再配置プラン案について多くのご意見をいただきました。いただいたご意見はワークショップの検討に活用されました。

## 再配置プラン案を5案追加しました。

※ これらの案の元となった再配置プラン案は最終ページに掲載しています。

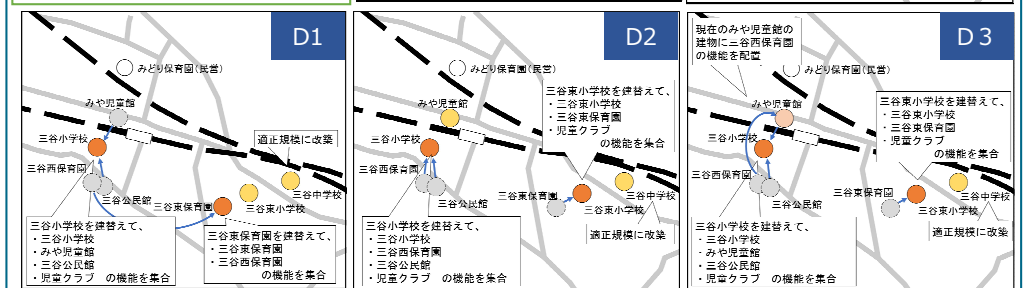
第3回ワークショップでのご意見を踏まえて、再配置プラン案を5案追加しました。

### 【A修正案】

- A1：公民館と小学校、中学校と保育園が集合するプラン
- A2：公民館と小学校が集合するプラン

### 【D修正案】

- D1：三谷東保育園の敷地で保育園を集約するプラン
- D2：2つの保育園を残すプラン①
- D3：2つの保育園を残すプラン②



凡例：● 機能の集合 ● 存続 ● 転用 ● 廃止

## 次回ワークショップについて

日時：3月10日（日）

午後1時30分～午後4時30分

場所：三谷公民館 大集会室

内容：施設の再配置プランの絞り込みについて

どなたでも傍聴ができます。

ワークショップ10日前から受付を行ないますので傍聴ご希望の方は、右のお問い合わせ先までご連絡ください。

# 再配置プラン案の評価検証

第4回ワークショップでは再配置プラン案を比較するため、これまでのご意見をもとに事務局が作成した評価一覧表(案)を用いて検討を行いました。評価項目や評価方法について修正点や配慮すべき点などのご意見をいただきました。(各再配置プラン案の概要は表紙及び最終ページをご覧ください。)

視点①～⑦については、評価項目ごとに(◎：現状より向上、○：現状維持もしくは一長一短がある、△：現状より低下)の3段階で評価しました。視点⑧については、LCC(ライフサイクルコスト)の試算における50年間の縮減額にもとづき評価しました。

## 評価一覧表(案)

視点	内容	評価項目	A	A1	A2	B	C	D	D1	D2	D3	
① 地区のまとまり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区住民同士が関わり合い、三谷としてのまとまりを作りやすくしているか。</li> <li>地区の行事や活動の中心となる拠点が整備されているか。</li> </ul>	ア 地区の子ども同士の一休性を作りやすいか。(学校の配置により評価)	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	
		イ 地区の伝統や象徴が保たれる施設の配置になっているか。(小学校の配置で評価)	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○
		ウ 地域の伝統行事に活用しやすい施設の配置になっているか。(公民館の配置で評価)	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
② 地区の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業活性化などの地域振興が進むか。</li> </ul>	エ 産業の活性化や住宅開発が進むか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
③ 学校教育環境の適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な学校規模が維持されているか。</li> <li>学習環境や活動内容が充実しているか。</li> <li>学校の配置は適切か。</li> </ul>	オ 適切な学校規模が維持されているか。(30年後の小学校の学校規模を国の基準にあてはめて評価)	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	△	
		カ 小学校の学習環境や活動内容は充実しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		キ 中学生のグラウンドでの活動のしやすさは保たれるか。	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
		ク 適切な通学距離が保たれているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
④ 子育てしやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの居場所は確保されているか。</li> <li>子育てしやすい環境が整備されているか。</li> </ul>	ケ 小学生にとって放課後に安心して過ごせる場所が確保されているか。(児童クラブの配置で評価)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		コ 地区内に中高生が勉強する場所は確保されているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		サ 保育園の徒歩での通園のしやすさは保たれているか。(保育園の周辺年少人口で評価)	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○
		シ 保育園へ自動車での送迎しやすくなったか。(保育園の駐車場の確保しやすさを評価)	△	○	◎	◎	◎	△	△	△	△	○
⑤ 多世代・同世代で活動・交流できる場作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な世代の方が交流できる環境が充実しているか。</li> <li>同世代で気軽に交流できる環境が確保されているか。</li> </ul>	ス 日常的に子どもと地域の大人の交流が行われる環境が充実したか。(公民館と学校・保育園・児童館との関係性で評価)	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		セ 子育て世代や中高生など若い世代が同世代で集まれる環境が充実したか。(公民館・児童館の配置と機能について評価)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑥ 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全の確保された立地となっているか。</li> <li>避難所・避難場所の数や位置は適切か。</li> <li>機能が集合した施設の防犯対策、安全面への配慮がされているか。</li> </ul>	ソ 津波・高潮の危険を避けられる施設配置になっているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		タ 災害時の避難所・避難場所は確保されているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		チ 利用者の防犯面での安全は確保されているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑦ 利便性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>1ヶ所で多様な活動が行えるようになったか。</li> <li>各所から通いやすい施設配置となっているか。</li> <li>駐車スペースは十分確保されているか。</li> </ul>	ツ 1ヶ所で多様な活動が行える施設配置になったか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		テ 公民館へのアクセスしやすさは向上しているか。(公民館の周辺人口と駐車場の確保しやすさを評価)	○	○	○	◎	△	△	△	△	△	△
⑧ 将来負担の縮減	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持更新費用・運営費用は縮減されているか。</li> </ul>	ト 児童館の駐車場が十分に確保されているか。	○	○	○	◎	○	△	△	○	△	
		LCC(ライフサイクルコスト) 試算における50年間の縮減額(単位:百万円)	6,909	6,959	6,315	6,593	6,737	3,675	3,473	1,406	1,491	

◎の個数	5	6	7	9	6	4	4	4	4
○の個数	12	13	12	9	9	12	11	13	13
△の個数	3	1	1	2	5	4	5	3	3

以下は、ワークショップでいただいたご意見の抜粋です。

### ① 地区のまとまり

- 【イ】地区の伝統が保たれるかは、小学校の配置だけで判断すべきものではない。祭りの拠点となる公民館が三谷小学校の位置に移転し、新たな拠点となれば伝統の継承としては十分意味があるので、その点も評価に入れるべきではないか。
- 【イ】BとCの評価が「△」になっているが三谷小学校の方が三谷東小学校よりも地区の中心にあるという認識はない。三谷小学校の存続(現在の場所に三谷小学校が存続すること)にこだわっているのは世代の高い人だけではないか。
- 【ウ】三谷小学校に公民館が移転されても八剣神社の拝殿からの距離はさほど変わらないが、参道の入口からの距離はだいぶ変わる。移転すれば現状よりも祭りの際の機能は低下するので、いずれの案でも現状と比較して低い評価になると思う。

### ③ 学校教育環境の適正化

- 【カ】(学校規模にも)多人数と少人数のそれぞれにメリットとデメリットがあり、一長一短ということの中で競争することやクラス替えで友達つきあいを学ぶことは子どもの成長にとって大切だと思う。
- 【カ】小学校の学習環境や活動内容の充実、公共施設の再編によって達成できるものではなく、先生方による教育の質の向上などが要だと思うので、再配置案の評価項目にするのは違和感がある。
- 【キ】中学校のグラウンドの使いやすさは、面積が確保できるだけでなく、グラウンドの形状も含めて評価してほしい。
- 【ク】国の基準の半分の2キロ圏内に位置するかどうかで評価をしているということだが、2キロは小学生には遠すぎる。どちらの小学校に統合するにせよ現状より通学が不便になる子どもがいるのだから、A～Cの評価は「△」になると思う。
- 【ク】日々の通学によって子どもたちの体力や忍耐力が養われる面もあるので、2キロの距離が長すぎてマイナスだとは一概に言えないのではないか。

### ④ 子育てしやすい環境づくり

- 【サ・シ】保育園の送迎の主流は以前は徒歩だったが今は自動車になってきている。その変化に対応できず駐車場が足りない保育園が多いので、「シ」の項目は重要だと思う。一方、「サ」の徒歩での通園のしやすさをメリットと考える人は少ないと思う。

### ⑤ 多世代・同世代で活動・交流できる場作り

- 【ス】地域の子どもと大人との交流は公共施設の配置のようなハードから生まれるものではなく、ソフトの仕掛けで作るものだと思うので、評価項目にするのは疑問だ。

### ⑥ 防災・防犯

- 【ソ・タ】全ての案の評価が一律になっているのが本当にそうなのか疑問に思う。高台にある中学校が避難拠点として残るか、避難所指定されてなくても一時的に避難できる場所が近隣に確保できているかという点からも評価してほしい。たとえ公民館や中学校が移転しても、跡地に避難場所としての機能が残るのであれば問題ない。

### ⑧ 将来負担の縮減

- 市の将来を長期的な視点で考えれば、公共施設の再編の目的であるコスト削減は重視すべきだろう。

### その他(再配置プラン案について)

- 【公民館について】
- 公民館は現在の場所で建替えし、安全を確保した上で使い続けたい。高潮時の避難場所として使えるし、祭りの山車を引くルートが変わることによるトラブルを避けることもできる。
  - 祭りのために公民館が現在の位置にあるほうがよいと思うが、祭りは年に1回のことなので、移転してもやり方を工夫すれば対応できるのではないか。
- 【小学校について】
- 部活動や教育の質を保つためには、ある程度のクラス数が必要になると思うので、竹島小学校(西区)の学区変更ができないのであれば、早い段階で小学校を統合すべきではないか。
  - どちらの小学校に統合するかを判断するためには、統合されて児童数が増えた場合でもグラウンドの面積が十分確保できるか、通学距離の遠くなる子どもがどれくらいいるかなど、もう少し詳細な検討が必要だ。
  - 小学校が公民館と複合してオープンな場所になることで防犯上の問題が生じ、事件が起きないか心配だ。
- 【保育園について】
- 三谷西保育園と三谷東保育園が統合されることで通園が不便になる人は(地区のすぐ近くにある)みどり保育園を利用すればよいだろう。
- 【その他】
- 施設を再編する案だけでなく、現在の施設をそのまま残し長寿命化を図る案も検討すべきだ。その方がライフサイクルコストも抑えられる。